

パレスチナ・ガザ地区、ヨルダン川西岸地区 救援カンパにご協力をお願いします

中東の地に恒久の平和を パレスチナの戦火が^や熄むことを 心から願います



私たちは、共生と平和は一つであって、二つではないと考えています。平和は暴力や戦争のないこと、共生はそこに向かう人間の営みです。そう考えたとき人は、戦争は起きるものだ、無くなることはない諦めるのではなく、戦争を無くすために努力し、その責任を引き上げることができず。その営みは日常にも非日常にもあります。

ウクライナでの戦火が終わらないなか、イスラエルとパレスチナの地にふたたび戦争の状況が起きてしまいました。そして、ここでも、ほんとうにたくさんの子どもたち、人びとが生命を奪われつつあります。私たちは、世界中のすべての人びととともに暴力や戦争で人が人を殺すことも、人が人に殺されることも絶対にあってはいけなと訴え、それが、すべての国家の為政者たちと、あらゆる民族や集団の指導者たちの心に届いていくことを心から願います。中東の地に恒久の平和を願います。ウクライナに恒久の平和を、人間の社会に恒久の平和を願います。

組合員の皆さん、パレスチナの人びとへの支援のためのカンパを募ります。下記の注文番号でお届けください。お預かりしたカンパは、パレスチナの人びとへの直接の支援にかならず役立たせていただきます。

共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

号 外

■発行：一般社団法人グリーンコープ共同理事会
■編集：共生の時代・編集部
■〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
博多大博通ビルディング3階
TEL 092 (481) 7923
FAX 092 (481) 7876
<https://www.greencoop.or.jp/>

グリーンコープが連帯する団体から支援の呼びかけが届けられました

ATJからパレスチナ・ガザ地区、ヨルダン川西岸地区救援カンパのお願い

10月7日に始まったハマースとイスラエル軍の武力衝突は双方の市民に多数の犠牲者を出しています。とりわけパレスチナ・ガザ地区では、逃げ場のない市民に対する連日の空爆で死者14,800人以上、負傷者35,000人近く(11月23日現在)にのぼっています。食料、水、電気、燃料、医薬品が絶対的に不足し、220万の人口のうち170万人が避難生活を強いられています。

こうした事態を受けて、パレスチナのオリブオイルの2つの出荷団体、アル・リーフ社(Ai Reef) (PARCのフェアトレード事業会社)、及びUAWCでは、封鎖が解除され次第、ガザ地区の人びとに対する物資の緊急支援、中期的には爆撃によって破壊された農地や農業施設の復興支援を行う準備を進めており、日本にも支援の要請が届きました。

オリブの産地であるヨルダン川西岸地区でも入植者やイスラエル軍の暴力行為による死者は211人(11月23日現在)にのぼっており、強制立ち退きの事例も多数報告されています。中でもイスラエル軍の支配下に置かれており、オリブ生産者のほとんどが住むエリアでこうした事件が頻発しています。そのため、UAWCでは西岸地区で避難生活を送る農民や遊牧民に対する住居やテント、住宅資材の提供も行っています。

オリブの産地であるヨルダン川西岸地区でも入植

※1 民衆交易を基盤にした南の民衆と北の市民の連帯・交流のネットワーク。南の人びとの経済的自立を支援するため、低利で資金を融資している。

ATJ(株)オルター・トレッド・ジャパン

エコシユリンプやバナナ、パレスチナのオリブオイルなどの「民衆交易」を行う会社。グリーンコープをはじめとする生協などの団体が出資して1989年に設立した。いのち、暮らし、自然を守る食べものの交易を通して生産者の自立、そして生産者と消費者が相互に支え合う関係を目指している。

PARC(パレスチナ農業復興委員会)

パレスチナで農業復興に取り組んでいる。グリーンコープでは、PARCが生産するオリブオイルが原料の「パレスチナのエキストラ・バージンオリブオイル」を取り扱っている。

UAWC(パレスチナ農業開発センター)

パレスチナで農業復興に取り組んでいる。グリーンコープでは、UAWCが生産するオリブオイルが原料の「せけんやギフト用エキストラ・バージン・オリブオイル」を取り扱っている。

アル・リーフ社及びUAWCが行う支援活動

1. ガザ地区

- ・食料や水、医薬品や乳児用ミルク、テントや衣類などの支援物資の提供
- ・建設資材の提供
- ・破壊された農地や農業施設、灌漑施設の復旧

2. ヨルダン川西岸地区

- ・避難民への住居やテント、住宅資材、生活必需品の提供
- ・土地を差し押さえられた人びとへの法的支援

パレスチナ・ガザ地区、ヨルダン川西岸地区 救援カンパ

カタログ42号でカンパを受け付けます
受付期間: 12月18日(月)~22日(金)

パレスチナ・ガザ地区 救援カンパ

010

011

一口 200円 一口 500円

共同購入申込書の申込番号の数量欄に、カンパする口数をご記入ください。お一人何口でも申し込みます。

※【例】申込番号010の数量を「2」と記入・入力された場合は、400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

お届けいただいたカンパ金は、ATJをおとしてPARC及びUAWCにお届けします。また、特定非営利活動法人パルシックにも届け、現地の人々の支援に活用されます。

アル・リーフ社からの報告

パレスチナのガザ地区では現在、イスラエル占領軍による大規模な大量虐殺、民族浄化が行われています。大惨事は10月7日に始まり、イスラエル軍の爆撃と空爆の激しさは急速に増しており、ガザ地区全域に大規模な破壊を引き起こしています。水、電気、食料、燃料、そして基本的な生活必需品の深刻な不足を緩和するために必要な人道的・医療的援助を遮断するというイスラエル占領軍の決定により、ガザ地区の住民は、死に直面し、人道的危機に苦しんでいます。ガザ地区はすでに17年間、イスラエルによる完全封鎖状態にあり、戦争が宣言されて以来、この包囲は非常に厳しくなっています。

大量虐殺が始まって以来、イスラエルの戦闘機は14,200戸の住居が入る5,500棟の建物を完全に破壊しました。さらに、約133,000戸の住居が部分的に損壊し、内10,127戸が居住不能となりました。イスラエル占領軍は、医療施設、学校、モスク、教会、道路、パイン屋、水汲み場、海水淡水化プラントなどを標的にし、近隣地域全体を一掃し、さまざまな都市、村、難民キャンプなど多数の地域が灰燼に帰しました。そのため、何十万人ものガザ地区の人びとが家を失いました。

占領軍はガザ地区全域で多数の虐殺を行っています、最大かつ最も残忍なものはパレスチナ市民約1,000人（そのほとんどが子ども）



救援物資を配布



飲料水を配布

(2023年10月22日)

UAWCからの報告

最近の戦争の惨禍によって、ガザは打ちのめされ、傷つき、人道的大惨事の瀬戸際に立たされています。このメッセージを書いている今、全住民が圧倒的な損失、痛み、破壊と闘っています。猛攻撃から2週間以上が経過し、現状は恐るべきものとなっています。イスラエルの攻撃は、基本的なコミュニティ・インフラだけでなく、生計手段の核心をも標的にしています。住民の生命線であるガザ地区の農業セクターの大部分が脅威にさらされています。何千人もの農民が、自分の畑や農地へのアクセスを妨げられています。ガザ地区の現在のニーズを満たすのに欠かせない1万トン以上の果物や2万5000トン以上の野菜が人びとの手に届かない状況です。飢えが市民に対する武器として使われていることは明らかです。

ガザ市在住でUAWCのスタッフでもあるバシルは、爆撃のためにガザ地区南部に避難しました。彼は子どもたちに必要なものを与えるのに苦労しています。清潔な水を手に入れることができず、限られた汚染された水を使っています。水を節約するため、トイレに行くのは1日1回に制限しています。主食であるパンがないため、米で代用し、パンを欲しがると子どもたちをなだめようとしています。食料が不足しているた



緊急支援物資を準備



ヨルダン川西岸地区地図
灰色の部分がエリアC、入植地やイスラエル軍演習地が集中している

(2023年10月25日)

パルシクから支援協力の呼びかけ

いま爆撃が続くガザ地区は、面積でいうと種子島ほどの小さな地域に230万人が住む人口密集地です。2007年以降イスラエルに軍事封鎖され、「天井のない監獄」と呼ばれてきました。人びとはガザ地区の外に自由に出ることを禁じられ、物流も制限され、慢性的な困窮状態におかれました。イスラエルからの武力攻撃も、過去に何度も起こりました。

今回の戦争が始まり、水、食料、燃料、通信などのインフラもイスラエルによって遮断され、深刻な人道危機に陥っています。イスラエル軍は、ガザ北部の住民に南部への避難を勧告しましたが、退避路周辺も、南部地域も激しい空爆を受けています。パルシクのガザ事務所スタッフは「これは戦争ではなく虐殺です。警告なしで住民の頭上に爆弾が投下される。ガザの安全な場所はどこにもありません」と悲痛な叫びをあげます。

2014年のイスラエルによるガザ侵攻後、パルシクはガザ地区での被災者緊急支援を実施しました。そして2018年からは、ガザの人びとが人間らしい自立的な生活を送れるように、酪農・畜産農家を対象に生計支援を行ってきました。

(2023年11月15日時点)

特定非営利活動法人パルシク
国際協力とフェアトレードを主な活動内容とする。パレスチナのガザ地区で緊急支援と生活再建支援、ヨルダン川西岸地区で循環型社会をつくるための支援を行っている。

